

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月14日

**【四半期会計期間】** 第16期第1四半期  
(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社スタートトゥデイ

**【英訳名】** START TODAY CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役 前澤 友作

**【本店の所在の場所】** 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

**【電話番号】** 043-213-5171(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役CFO 柳澤 孝旨

**【最寄りの連絡場所】** 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

**【電話番号】** 043-213-5171(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役CFO 柳澤 孝旨

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期 連結累計期間	第16期 第1四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	7,191	8,536	35,050
経常利益 (百万円)	1,630	2,880	8,570
四半期(当期)純利益 (百万円)	997	1,835	5,360
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	994	1,889	5,240
純資産額 (百万円)	13,257	13,594	12,773
総資産額 (百万円)	21,788	24,123	23,873
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	9.08	17.17	49.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	9.07	17.16	49.45
自己資本比率 (%)	58.6	54.7	52.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年7月16日開催の当社の取締役会において、当社を完全親会社、(株)ブラケットを完全子会社とする株式交換を実施することを決議し、同日付で(株)ブラケットとの間で株式交換契約を締結いたしました。詳細は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表」の重要な後発事象を参照ください。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同期比
商品取扱高	19,140 (100.0%)	24,309 (100.0%)	+27.0%
売上高	7,191 (37.6%)	8,536 (35.1%)	+18.7%
営業利益	1,635 (8.5%)	2,873 (11.8%)	+75.7%
経常利益	1,630 (8.5%)	2,880 (11.9%)	+76.6%
四半期純利益	997 (5.2%)	1,835 (7.6%)	+84.0%

( )内は商品取扱高に対する割合です。

当社グループは「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」という企業理念のもと、日本最大級のファッションECサイト「ZOZOTOWN」の運営を中心に事業活動を行っております。輸出環境の好転や金融政策への積極的な取り組みなどを受け、企業収益の改善に対する期待が高まる中、当社グループが軸足を置く衣料品・アクセサリー市場においても、個人消費持ち直しの気運を背景に緩やかながらも回復傾向が鮮明となりつつあります。ファッションEC市場においても、ブランド及びユーザーとファッションECとの親和性が高まり、ファッションECでの消費活動が一般化しつつあることから、引き続き高い成長を実現させております。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間における当社グループは、ユーザーへのサービス向上を図るとともに、商品供給の強化（潜在需要に対応した在庫の確保、ターゲット顧客層や中心価格帯の異なる様々なショップの出店など）を推し進めることで、商品取扱高の拡大に注力してまいりました。加えて、前期は7月以降に開始したサマーセールを、当期では6月28日より開始したことも、当第1四半期連結累計期間の商品取扱高の増加に寄与しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は24,309百万円（前年同期比27.0%増）、売上高は8,536百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

利益面においては、全商品送料無料化（平成24年11月開始）による運賃収入の減少により、売上総利益率（対商品取扱高）が前年同期比1.1%低下いたしました。しかしながら、プロモーション戦略を抜本的に見直し、プロモーション関連費率（対商品取扱高）を前年同期比3.4%低下させたことなどを理由に、営業利益率（対商品取扱高）は前年同期比3.3%上昇し11.8%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は2,873百万円（前年同期比75.7%増）、経常利益は2,880百万円（前年同期比76.6%増）、四半期純利益は1,835百万円（前年同期比84.0%増）となりました。

当連結会計年度は「真面目」「感動」「カッコいい」をキーワードに、ユーザーとブランド双方にとってより一層魅力的なサイト作りに邁進し続け、ファッションEC拡大にとって必要不可欠な「年間利用者数の拡大」「取扱いブランドの拡大と既存ブランドとの関係強化」を両輪として、商品取扱高の拡大に務めております。

当第1四半期連結累計期間において、新規サービス「WEAR」のティザーサイトを開設致しました。同サービスは、「WEAR FOR CONNECTION（世界を服でつなげよう）」をテーマに、服を通したコミュニケーションを楽しんでいただいたり、ショッピングやコーディネートに参考にしていただける、スマートフォンを主軸としたファッション特化型のサービスです。現在、8～9月のサービスインに向けて準備をしております。

当社グループは前連結会計年度において、報告セグメントを変更しており、単一セグメントとなったため、セグメント別の記載を省略しております。

なお、単一セグメント内の各事業別の業績は以下のとおりです。

前年同期との比較は前年同期の数値を変更後の区分に組み替えて行っております。

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)			当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)			取扱高 前年同期比 (%)	売上高 前年同期比 (%)
	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)		
ZOZO事業								
(買取ショップ)	1,646	8.6	1,646	1,987	8.2	1,987	+20.8	+20.8
(受託ショップ)	15,231	79.6	4,210	18,973	78.0	5,249	+24.6	+24.7
小計	16,878	88.2	5,856	20,961	86.2	7,237	+24.2	+23.6
自社EC支援事業	2,262	11.8	596	3,347	13.8	881	+48.0	+47.7
その他	-	-	738	-	-	417	-	-43.4
合計	19,140	100.0	7,191	24,309	100.0	8,536	+27.0	+18.7

#### ZOZO事業

ZOZO事業は、当社が各ブランドからファッション商材を仕入れ、自社在庫を持ちながら販売を行う「買取ショップ事業」と、当社が各ブランドの商品を受託在庫として預かり、受託販売を行う「受託ショップ事業」の2つの事業形態で構成されております。

当第1四半期連結累計期間においては、前期まで積極的に行ってきた様々なプロモーション戦略に関して抜本的に見直しを行い、原点回帰をキーワードに魅力的なサイト作りに注力してまいりました。

その結果、平成25年6月時点の年間購入者数（平成24年7月～平成25年6月）は2,657,467人（前第1四半期末比598,936人増）となりました。

さらに、ファッションECサイトの運営において購入者数と同じく重要な要素である商品供給力についても、積極的な強化を行ってまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、「MAISON DE REEFUR」「Lui's」「LagunaMoon」「SNOOPY」「DKNY」等24ショップが新規出店致しました。平成25年6月末現在の総ショップ数は「ZOZOTOWN」「ZOZOVILLA」と合わせて514ショップとなり、一層幅広い顧客層のニーズに応え得るブランドラインアップを実現することが出来ました。

以上の結果、ZOZO事業の商品取扱高は20,961百万円（前年同期比24.2%増）、売上高は7,237百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

買取ショップ事業及び受託ショップ事業の実績は以下のとおりです。

#### ・買取ショップ事業

当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は1,987百万円（前年同期比20.8%増）、商品取扱高に占める割合は8.2%となりました。売上高は商品取扱高と同額の1,987百万円（前年同期比20.8%増）となりました。平成25年6月末現在、買取ショップ事業では40ショップ（平成25年3月末40ショップ）を運営しております。

#### ・受託ショップ事業

当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は18,973百万円（前年同期比24.6%増）、商品取扱高に占める割合は78.0%となりました。売上高（受託販売手数料）は5,249百万円（前年同期比24.7%増）となりました。平成25年6月末現在、受託ショップ事業では474ショップ（平成25年3月末452ショップ）を運営しております。

#### 自社EC支援事業

自社EC支援事業では、ブランドの自社ECサイトを受託・運営しております。当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は3,347百万円（前年同期比48.0%増）、商品取扱高に占める割合は13.8%となりました。売上高（受託販売手数料）は881百万円（前年同期比47.7%増）となりました。当第1四半期連結累計期間において新たに「BIRKENSTOCK JAPAN ONLINE」「GOCART ONLINE SHOP」「coen ONLINE SHOP」の3サイトの構築及び運営受託を開始したことに加え、ファッションECに対するユーザーの認知度が高まってきたことを受け、各ブランドが自社ECへの取り組み姿勢を一層積極化させたことが増収の背景となっております。平成25年6月末現在、自社EC支援事業では27サイトの構築及び運営を受託しております。

#### その他

その他にはEC事業に付随した事業（代引手数料収入、テナント出店の際の初期出店料など）が計上されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他売上高は417百万円（前年同期比43.4%減）となりました。平成24年11月より全商品送料無料化を実施したことに伴い、送料収入が減少したことが減収の主要因となっております。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ351百万円減少（前連結会計年度末比1.7%減）し、20,304百万円となりました。主な増減要因としては、売掛金の増加964百万円、配当金の支払いや法人税等の納付により現金及び預金が1,191百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ601百万円増加（前連結会計年度末比18.7%増）し、3,819百万円となりました。主な増減要因としては、平成25年10月に稼働を予定している物流施設への設備投資に伴う建設仮勘定の増加624百万円によるものであります。

以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、24,123百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ610百万円減少（前連結会計年度末比5.9%減）し、9,815百万円となりました。主な増減要因としては、受託販売預り金の増加645百万円、買掛金の減少388百万円、ポイント引当金の減少136百万円、未払法人税等の減少682百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加（前連結会計年度末比5.9%増）し、713百万円となりました。主な増減要因としては、退職給付引当金の増加30百万円によるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて5.1%減少し10,529百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ821百万円増加（前連結会計年度末比6.4%増）し、13,594百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,835百万円、剰余金の配当による減少1,068百万円によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

## (5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数の著しい増減はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	429,120,000
計	429,120,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	109,885,500	109,885,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 100株であります。
計	109,885,500	109,885,500		

(注) 1 提出日現在発行数には、平成25年8月1日から本四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

2 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		109,885,500		1,359,665		1,327,850

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,000,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 106,877,900	1,068,779	
単元未満株式	普通株式 7,600		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	109,885,500		
総株主の議決権		1,068,779	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株スタートトゥデイ	千葉県千葉市美浜区中瀬 2丁目6番1号	3,000,000		3,000,000	2.73
計		3,000,000		3,000,000	2.73

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,037,622	10,845,832
売掛金	6,534,440	7,499,116
商品	1,276,948	1,072,021
その他	806,792	887,078
流動資産合計	20,655,805	20,304,049
固定資産		
有形固定資産	1,538,392	2,153,711
無形固定資産		
のれん	490,270	452,557
その他	235,667	267,581
無形固定資産合計	725,938	720,139
投資その他の資産	953,014	945,411
固定資産合計	3,217,345	3,819,261
資産合計	23,873,150	24,123,311
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	650,903	262,107
受託販売預り金	5,444,023	6,089,324
未払法人税等	1,791,504	1,108,527
賞与引当金	169,549	265,150
ポイント引当金	720,840	583,988
返品調整引当金	27,404	26,971
事業整理損失引当金	42,992	10,920
その他	1,579,259	1,468,659
流動負債合計	10,426,477	9,815,649
固定負債		
退職給付引当金	442,412	473,265
資産除去債務	116,956	126,170
その他	114,101	113,944
固定負債合計	673,469	713,379
負債合計	11,099,947	10,529,028
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,665	1,359,665
資本剰余金	1,327,850	1,327,850
利益剰余金	13,358,951	14,125,687
自己株式	3,660,588	3,660,588
株主資本合計	12,385,878	13,152,614
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26,981	49,377
その他の包括利益累計額合計	26,981	49,377
新株予約権	2,561	2,561
少数株主持分	357,782	389,729
純資産合計	12,773,203	13,594,282
負債純資産合計	23,873,150	24,123,311

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,191,797	8,536,137
売上原価	1,403,956	1,479,605
売上総利益	5,787,840	7,056,532
返品調整引当金戻入額	-	27,404
返品調整引当金繰入額	21,305	26,971
差引売上総利益	5,766,535	7,056,965
販売費及び一般管理費	4,130,950	4,183,155
営業利益	1,635,584	2,873,809
営業外収益		
受取利息	1,804	782
為替差益	-	3,138
その他	1,974	3,018
営業外収益合計	3,778	6,939
営業外費用		
為替差損	8,377	-
営業外費用合計	8,377	-
経常利益	1,630,986	2,880,748
特別損失		
固定資産除売却損	9,796	4,272
特別損失合計	9,796	4,272
税金等調整前四半期純利益	1,621,190	2,876,476
法人税、住民税及び事業税	686,087	1,090,919
法人税等調整額	20,723	50,034
法人税等合計	665,364	1,040,885
少数株主損益調整前四半期純利益	955,825	1,835,591
少数株主損失( )	41,816	-
四半期純利益	997,641	1,835,591

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	955,825	1,835,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,401	-
為替換算調整勘定	36,547	54,343
その他の包括利益合計	38,949	54,343
四半期包括利益	994,775	1,889,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,019,318	1,857,987
少数株主に係る四半期包括利益	24,543	31,946

【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更等 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	71,334千円	78,412千円
のれんの償却額	37,713千円	37,713千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,648,039	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,068,855	10	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

「 当第1四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりです。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループはEC事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において、(株)クラウンジュエルが運営するオークションサイト「CROWN JEWEL」での販売を中止し、当社が運営する「ZOZOTOWN」内で新たに二次流通の事業として「ZOZOUSED」の名称で新規出店したことに伴い、従来オークション事業として区分していた二次流通に係る事業を当社の管理会計上、EC事業に集約いたしました。その結果、当社グループはEC事業の単一セグメントとなっております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	9円8銭	17円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	997,641	1,835,591
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	997,641	1,835,591
普通株式の期中平均株式数(株)	109,876,658	106,885,500
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	9円7銭	17円16銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	72,001	69,864
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

簡易株式交換による(株)ブラケットの完全子会社化

当社は、平成25年7月16日開催の当社の取締役会において、当社を完全親会社、(株)ブラケットを完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を実施することを決議し、同日付で(株)ブラケットとの間で株式交換契約を締結いたしました。

1. 本株式交換の目的

当社は、「世界中をカッコよく、世界中に笑顔。」という企業理念のもと、日本最大級のファッションECサイト「ZOZOTOWN」の運営を中心に事業活動を行っております。

(株)ブラケットは、誰でも簡単にオンラインストアを作ることができるサービス「STORES.jp（ストアーズ・ドット・ジェーピー）」を主力サービスとして展開しており、2012年9月のサービス開始から累計約4万のオンラインストアが開設されています。

現在、STORES.jpで開設されるオンラインストアの約70%がアパレルカテゴリー関連のストアであることや、出店者様からの販売支援および物流サービスに対する需要が高まっていることなどから、両社のシステム基盤やサービス体制を連携させることで、さらなる拡大成長を実現できると考え、株式交換の合意に至りました。

2. 本株式交換の概要

(1) 本株式交換の日程

株式交換契約承認取締役会決議（当社）	平成25年7月16日
株式交換契約承認取締役決議（(株)ブラケット）	平成25年7月16日
株式交換契約締結日（両社）	平成25年7月16日
株式交換承認株主総会（(株)ブラケット）	平成25年7月16日
株式交換実施日（効力発生日）	平成25年8月15日（予定）

(注) 当社は、会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

(2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、(株)ブラケットを株式交換完全子会社とする株式交換となります。本株式交換は、当社については会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより株主総会の承認を得ずに、(株)ブラケットについては平成25年7月16日開催の臨時株主総会の決議による承認を受けた上で、平成25年8月15日を効力発生日として行う予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	(株)スタートトゥデイ (株式交換完全親会社)	(株)ブラケット (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	350

(注) 1. 本株式交換に係る割当ての比率

(株)ブラケットの普通株式1株に対して、当社の普通株式350株を割当て交付いたします。なお、本株式交換実施前において、当社は(株)ブラケットの株式を保有していません。

2. 本株式交換により交付する当社の株式

当社は、本株式交換により315,000株（予定）を割当て交付いたしますが、交付する株式は保有する自己株式を充当する予定であり、新株式の発行を行わない予定です。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

本株式交換における株式交換比率の算定の前提となる株式価値について、当社の株式価値については市場価格法により算定し、(株)ブラケットの株式価値については、公正性・妥当性を担保するために第三者算定機関によるディスカунテッド・キャッシュ・フロー法を用いて算出いたしました。当該算定結果を参考として、両社間で慎重に交渉および協議を行った結果、前記2.(3)に記載した株式交換比率が妥当であると判断いたしました。

4. 本株式交換の当事会社の概要

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社
(1) 名称	(株)スタートトゥデイ	(株)ブラケット
(2) 所在地	千葉県美浜区中瀬二丁目6番地1	東京都渋谷区渋谷一丁目17番1号 T O C 第二ビル
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 前澤 友作	代表取締役 光本 勇介
(4) 事業内容	ファッション通販サイト 「ZOZOTOWN」を中心としたECサイトの運営及びその他ファッション関連サービスの展開	インターネットビジネスの 企画・開発・運営
(5) 資本金	1,359百万円	9百万円
(6) 設立年月日	平成10年5月21日	平成20年10月10日
(7) 発行済株式数	109,885,500株	900株
(8) 決算期	3月31日	9月30日
(9) 大株主及び持株比率	前澤 友作 48.6% シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー 5.4%	光本 勇介 100.0%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	平成25年3月期(連結)	平成24年9月期(単体)
純資産	12,773百万円	8百万円
総資産	23,873百万円	38百万円
1株当たり純資産	116円13銭	9,228円95銭
売上高	35,050百万円	118百万円
営業利益	8,529百万円	0百万円
経常利益	8,570百万円	0百万円
当期純利益	5,360百万円	0百万円
1株当たり当期純利益	49円58銭	505円87銭

5. 本株式交換後の状況

本株式交換後の株式交換完全親会社である当社の名称、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期については、上記「4. 本株式交換の当事会社の概要」に記載の内容から変更はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社スタートトゥデイ  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 伊藤 俊 哉 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 坂井 知 倫 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スタートトゥデイの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スタートトゥデイ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。